

発行:一般財団法人 重い病気を持つ子どもと家族を支える財団 (キッズファム財団)

Foundation for Severely Ill Children and Their Families



ご挨拶

あっと言う間に今年も半分ほどの月日が過ぎてしまいました。いかがお過ごしでしょうか。私どもキッズファム財団事務局は変わりなく皆が元気でおります。

新型コロナ感染症がいつ、どう落ち着くのかはまだわからない状態が続いています。そんな混沌とした世界の状況の中でロシアがウクライナに侵攻しました。戦火の中でウクライナの人々はどれほど大変な思いでいるのでしょうか。特に病気の子どもたちはと考えると暗澹たる気持ちになります。平和がどれほど有難いものであるかを私たちはよくよく考えてみなければなりません。

幸せなことに団塊の世代の私は戦争を知りません。でも今回

一般財団法人 重い病気を持つ子どもと家族を支える財団
代表理事 細谷 亮太

の出来事をきっかけに、あまり学校では詳しく教えてもらわなかった昭和の歴史を様々な本で学びなおしています。なかでもお勧めは半藤一利の『昭和史1926~1945』(平凡社ライブラリー)。以前読んだ時は、他人事で自分に引きつけて読むことができませんでした。それが今回は全く違い、様々な思いを持って読み終えました。

現在のウクライナと全く同じ様な出来事が同じ様な経過で中国を始めとする大陸の国々で起こっていたことに正直驚いてしまいます。それに日本が元凶として大きく関わっていたことを知れば知るほど残念な気分になります。

何よりも平和と自由が大事という当たり前のことを忘れないようにしないといけないと改めて思われました。ご自愛ください。

撮影 中村彰宏

☆財団の主なイベントご紹介

■チャリティライブ

偶数月に、YouTubeでスタジオから無料生配信しています。Zoomでご参加いただいた方には、アーティストの皆さんと一緒に音楽等を楽しんでいただいている。

■第18回 - 2021年12月12日

国立成育医療研究センターのPICU(小児集中治療室)勤務の医師・看護師・薬剤師からなる「PICU合奏隊」による、ピアノ・フルート・バイオリンの演奏でした。PICUで緊迫した毎日をお過ごしの先生方も、ライブではアーティスト的一面を見せてくださいり、とても素敵な演奏を聞かせてくださいました。

ピアノの壱井伯彦さん(医師)はトナカイの着ぐるみを、フルートの長谷川麻未さん(看護師)はツリーの衣装を、ヴァイオリンの吉澤なぎさん(薬剤師)はスノーマンの衣装を着て、とても楽しいクリスマスマードが溢れる演奏でした。

モデレーターとして、サンタクロースの衣装で参加しPICUの説明や曲の紹介をしたのは、当財団理事で医師の余谷暢之さんでした。

また「クリスマスの格好で参加しよう♪」という企画では、サンタやトナカイの可愛い衣装を着たお子さん達がZoomで参加してくださいり「赤鼻のトナカイ」や「ジングルベル」を合唱しました。

■第19回 - 2022年2月16日



瞬時(しゅんじ)さんと、なつなさんによる、マジックとジャグリングでした。瞬時さんは、LEDを使ったパフォーマンスを得意にされていて、昨年の2月に続いて2回目のご出演でした。なつなさんは、ジャグリングを得意とされていて、高校生全国大会3位入賞、木村拓哉さん主演の映画「マスカレード・ナイト」にもジャグラー役として出演されています。

LEDパフォーマンスに続き、時刻を当てるメンタルマジックや、カップとボールのマジック、ボールジャグリングを披露していただきました。

パフォーマンスの途中では、当財団の「ファミリーフォトプロジェクト」で撮影した、素敵なお顔の家族写真をムービー風に繋げてご紹介させていただきました。

※YouTubeで過去のライブ動画をご覧いただけます。
「キッズファム財団」で検索してください。



PICU合奏隊の皆さんと余谷さん

■第20回 - 2022年4月13日

桜井奈津美さんによる歌・ピアノ演奏、星川萌恵さんによるヴァイオリン演奏と、工藤加寿子さんによる絵本の読み聞かせでした。途中、桜井さんのお友達でパーカッション奏者の中丸達也さんの参加もあり大いに盛り上がりました。サプライズで、絵本の読み聞かせに合わせて、桜井さんと中丸さんがピアノとパーカッションで即興演奏をしてくださいり、視聴者の皆さんから大好評でした。

「ナナの家」と「NPO法人 laule'a 遊びリパークリノアたまプラ」の皆さんとZoom参加してくださいり、お子さん達が歌ったり踊ったりしている楽しそうな姿が画面からも伝わってきました。20回という節目の回を迎えることができましたこと、皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。

Zoom参加していただいた、NPO法人 laule'a 遊びリパークリノアたまプラの安田一貴様からのメッセージ(一部抜粋)

施設の中で、大きなスクリーンとスピーカーを使って、子どもたちとスタッフとみんなと一緒に参加しました。重い障がいがあるお子さんも、音楽が聴こえてくると、表情の変化や、身体の動きで、「楽しい」を伝えてくれる瞬間があり、特別な体験・経験の場を創り続けることの大切さを実感しました。今回は、貴重な機会をありがとうございました。



左から工藤さん、星川さん、桜井さん、中丸さん

■写真展「“いのち”輝く～ファミリー フォトプロジェクト～」NHK技研ギャラリー

2022年1月24日～2月18日まで、写真展「“いのち”輝く」を開催しました。技研ギャラリーは世田谷区砧にあるNHK放送技術研究所1階展示スペースにあり、一般の方も来場可能です。毎日寒い日が続きましたが、多くの方にご来場いただきました。「笑顔が素晴らしい」「今年も会いにきました」「胸がいっぱいになる」「いつもありがとうございます」他にもこころ温まるメッセージをたくさんいただきました。これから多くの方にご覧いただけるように開催したいと思っています。



「写真展」今後の予定について：

8月1日(月)～8月26日(金) NHK技研ギャラリー
10月18日(火)～10月23日(日) 世田谷美術館区民ギャラリー
詳細は財団ウェブサイトでご案内いたします。

■写真展示 「天空コンサート7 & 7」



レインボーブリッジを背景に

天空コンサート7 & 7はアートピア主催の若手演奏家たち『Peer Jeuness(ピア ジュネス)』が7つの想いを7つの楽章で！をテーマに3月7日及び4月7日の夕暮れから豊洲シビックセンターホールで珠玉の小品・名曲を奏でました。夜景のレインボーブリッジが煌き、星の瞬きを感じるコンサートホールです。「アートピア」には財団が初期からお世話になつておらず、趣旨に賛同して協賛させていただきました。会場入り口で写真パネルを展示、音楽を楽しんだご来場者の方にご覧いただきました。次回は7月7日を予定しております。



ロビーでミニ写真展

■イオンレイクタウンアウトレットでの広報活動

5月7日(土)、イオンレイクタウンアウトレット“空の広場”で、財団の広報活動(写真展示と資料配布)をさせていただきました。同じ“空の広場”では、フラウタ.(村井学さん、荻野雄輔さん) + 鎌田朗さんのライブが行われました。3人は財団のチャリティライブにもご出演、そんなご縁でご一緒させていただきました。演奏前にはフラウタ.さんが、「お隣はキッズファム財団さんで～す。」と財団の紹介をしてくださいました。

ビートの効いた楽しい演奏を聞きつけて、たくさんの人



フラウタ. + 鎌田さん



“空の広場”にてたちが集まり、演奏に合わせて手拍子、思わず踊り出すお子さんもいました。“空の広場”全体が一つになるような、とても素敵な時間でした。熱心に写真を見て質問をしてくださる方、車椅子のお子さんとご一緒にいるお母様は「みんないい写真ですね。」と言ってくださいました。

貴重な機会をくださったイオンレイクタウンアウトレットご担当者様、株式会社シミズオクト様、ありがとうございました。またの機会に、ぜひお伺いしたいと思います。

■全国医療的ケアライン発足～誰一人取り残さない社会を目指して～

代表 宮副 和歩

3/27(日)午前、オンラインにて設立総会が行われ、全国の医療的ケア児者と家族や支援者をつなぐネットワークが発足しました。午前の設立総会では代表・副代表、設立趣意書、会則が承認され、正式名称は「全国医療的ケアライン」(愛称：アイライン)に決定しました。

午後に開かれたオンラインイベントでは、代表の宮副から発足のご挨拶をさせていただいた後、全国47都道府県をスピーチで繋ぐ「1分間リレー」を行い、全国の仲間たちと発足を祝いました。また、特別ゲストとして参列いただいた野田聖子内閣府特命担当大臣からご挨拶を賜り、全国肢体不自由児者父母の会連合会、全国重症心身障害児(者)を守る会、バクバクの会の代表の方々からも、温かいお祝いの言葉をいただきました。

これまでそれぞれが暮らす地域単位で、あるいは個人がSNS等のインターネット上で繋がって、励まし合い、どうにか個々の様々な困難について取り組んできた医療的ケア児や家族の課題。これからは、都道府県ごとにまとまった家族会が、更に全国で繋がり、話し合い、学び合いながら、それぞれの地域での活動に還元していく。そんな希望が持てるネットワークができました。

私が発足にあたり1番喜びを感じたことは、「全国ネットワークができるることを機に、同じ県内で繋がり合えたことが



全国医療的ケアラインの参加者

アイラインに込めた想い

昨年度、もみじの家では「47都道府県に医療的ケア家族会を！」をキャッチフレーズに呼びかけを続け、ついに全国をひとつに紡ぐネットワークが誕生しました。まさに感無量です。

ロゴマークには、賛同してくださった1,500人近くのメンバーの想いが凝縮されています。人が立つ姿に見立てた「i」の筆記体には「identity=その人らしく」、一本



嬉しい」という各地からの声です。医療的ケア児は全国で約2万人、マイナーな存在です。それ故、家族は自分の暮らす地域にある課題に1人で向き合わなくてはならないのかと、心細く思う経験を沢山しています。でもそんなことはない。まずは県内で繋がり合う。一緒に地元の課題を考えられる仲間をつくる。

決して1人じゃないと感じられる。私はそれが何より大事だと思っています。だから、「県内で繋がり合えたことが嬉しい」という言葉を聞いたこの日の時点で、私は全国医療的ケアラインが発足した意義は既に十分あったと感じ、嬉しかったのです。

もちろん、全国で繋がり合う意味は沢山あります、学び合い、知恵を授け合い、それぞれの都道府県が自ら考え伝えていく力をつけていく。皆の生活から生まれたリアルな声を、国にも都道府県にも市区町村にも伝えられる。行政と一緒に考えてもらえる関係性をつくれる。そういう力を皆がつけていくよう、全国で支え合いたいと思っています。

決して飾らず背伸びもせずに。私達が感じていることをきちんと言葉にして発信することが、誰一人取り残さない社会に繋がっていく信じ、全国の仲間たちとともに全国医療的ケアライン(アイライン)を育んでいきたいと思っています。

当日のイベントを協賛していただいたキッズファム財団様には、心から感謝申し上げます。今後とも、引き続きご支援いただけますよう、宜しくお願ひ致します。

もみじの家ハウスマネージャー 内多 勝康

の丸いラインで包み込む薦には「inclusive=共に生きる」

というメッセージを込めました。そしてなにより、アイラインの「アイ」は愛情の「愛」です。重い病気や障がいがあっても地域の中で愛情たっぷりに育まれる優しい社会を、力を合わせて築いていきましょう！





英国だより（8）

今年もイースターになりました。暗くて長かった英国の冬もイースターになると急に太陽の光も豊かになり春の訪れます。イースターは春分の日以後の満月より後にくる日曜日と



決められている移動祝日で、今年は4月17日でした。

英国のコロナ禍事情は後述致しますが、今年は4月15日（金）より2年ぶりに制限解除イースター休日になったの

Cornwallでの満月で英国南西部の海岸のCornwallへ出掛け来ました。此方では新緑の候には未だ間がありますが、色々の花々が咲き始めて春の到来を告げおりました。休暇初日の15日の為、通常約4時間のドライブの行程ですが5時間ほどかかり旅に出る人、車の増えた事も実感致しました。

英国のコロナ感染症の最新情報では2022年5月4日現在：感染者数22,090,523名 死者192,464名、1日当たりの新規感染者の平均：11,229名と日本よりかなり多い事が分かります。然しながらイングランド（スコットランド、ウェールズ等は別の制度）では本年2月24日から全ての規制が解除されて居り、自分や周囲の人を守る為の下記の政府の推薦する対策が示されています。1) ワクチン接種、可能なら追加接種をする。2) 屋内で人と会う場合、室内に新鮮な空気を取り入れるか屋外で会う。3) 屋内の混雑した場所に行くときはマスクをする・・等を検討する。3月18日より

喜谷 喜夫



は海外から英国への旅行者のPCR検査他も無くなり、英国から海外への旅行者は渡航先国の条件次第になりました。ワクチン接種は4回目（スプリング ブースターと称しています）も既に始まって居り小生も3月末に受けました。

最近の街の話題：英国でも色々な物の値上げが行われています。郵便、地下鉄、バス、ガソリンそして日常生活必需品等なんでも上がって仕舞いました。5月24日に地下鉄エリザベス線が開業。ロンドンを東西の郊外まで貫くエリザベス線が遂に予定から3年半遅れでなんとかプラチナジュビリー（女王の在位70年祭）に間に合います。西はReading、東はShenfieldまでが1本で繋がる事になります。またプラチナジュビリーの記念イベントが6月2日から4日間行われ、祝日となります。



プラチナジュビリーの街飾り

レッテルが消えたとき

喜谷昌代さんと私の出会いの場であった赤十字語学奉仕団は、当時、障害のある方への英語指導を活動のひとつにしていた。

私はそのころ、英語教師を目指す学生だった。英語指導は自分の訓練のために最適であろうと思い、この活動への参加を志願した。阿佐ヶ谷にあった国立視力障害センターの英語クラブのメンバーの勉強をお手伝いすることになった。

夜、センターの空き教室に集まったメンバーたちに初めて会った。下を向いている人もいれば、天井のほうに顔を向いている人もいた。目のことを話題にしてよいのだろうか、それとも目の話題は避けるべきなのだろうか、と私は自問した。この疑問が私の頭から離れず、私は指導に身を入れることができなかった。

翌週以降も同じだった。私は、心のなかで、英語クラブのメンバーに、「視力障害者」という巨大なレッテルを貼っていた。そのレッテルが常に私の目の前にちらついた。個々のメンバーの個性は、レッテルの下に隠れて、見えなかつた。

あるとき、レッスンのあとで、私は帰宅すべく自分の車に

キッズファム財団評議員 松坂 ヒロシ

乗り込み、エンジンをかけようとした。からなかった。セルモーターの音に気づいて、クラブのメンバーのひとりが玄関から出てきた。私より年上のその男性は、「ぼくにやらせてみてくださいよ。」と言って運転席に座った。エンジンがかかった。トラブルの原因是、単に私のチョークボタン（今の車にはついていない）の扱いのまずさだった。以前は自分も車の運転をしていたが、事故で目にダメージを受け、自分の視力が極端に落ちた、と彼は説明してくれた。



エンジンをかけようと彼があれこれ試していた1分足らずの間、私にとって、彼は、「視力障害者」ではなく、「気さくで気遣いあふれるひとりのおとな」だった。私の心のなかで、彼に貼られたレッテルがすうっと消えた。そして、このとき、英語クラブの他のメンバーたちを覆っていたものも消え始めた。

■ 令和3年度事業報告

1. 支援事業

- 1) もみじの家等短期滞在施設利用料の支援(支援件数 155件)
※長期利用料支援(令和3年度より開始)…1家族(122日分)
- 2) ファミリーフォトプロジェクト17件
もみじの家の撮影不可のため、他施設を借用し事前予約制の“撮影イベント”として実施
 - ・1回目(8月7日) 遊びリバークリアたまプラ(横浜市青葉区)…6家族参加
 - ・2回目(11月7日) 世田谷区医療的ケア相談支援センター(成育敷地内)…8家族参加
- 3) もみじの家利用家族へのタオル無償提供(利用家族全員)
- 4) キッズファム・カフェの実施2回(基本休止中だが、もみじの家からの要請により実施)
- 5) チャリティライブ
 - 4月 第14回 アートピア所属のソプラノ、ピアノ、ヴァイオリンによる演奏と紙芝居コーナー
 - 6月 第15回 フラウタ(ベース、ギター)+バーカッションによる演奏・歌、とお話しコーナー
 - 8月 第16回 音楽と絵画によるピアノ、ヴァイオリン及び Chernoff の演奏と歌
 - 10月 第17回 シンガーソングライターの新沢としひこさんによるピアノと歌
 - 12月 第18回 成育のPICU(小児集中治療室)所属の医師(ピアノ)、看護師(フルート)、薬剤師(ヴァイオリン)による演奏
 - 2月 第19回 マジック、ジャグリング等のパフォーマンス
- 6) 各種イベント等への招待(クッキングサロン、アロマボディトリートメント、美術館)新型コロナウイルス感染症のため休止中
- 7) 在宅医療ケアを必要とする子どもとその家族を支える事業を実施する団体への支援に向けた検討
 - ①重い病気を持つ子どもと家族を支援する事業・活動を行っている施設・団体との連携
 - ・世田谷区砧地区社会福祉協議会との情報交換
 - ・チャリティライブの配信を通しての連携
 - ②医療型短期入所サービス拡充を要望する全国活動(もみじの家 内多HM)への助成
全国の医療的ケア児・家族・支援者が参加するネットワーク(全国医療的ケアライン)発足イベントを協賛(3/27)
 - ③Kidaniスペシャルキッズプロジェクト(大阪市立総合医療センター 岡崎伸医師)への助成
今期は新型コロナウイルス感染症のためシステム構築まで至らず、助成は実施せず

2. 啓発事業

- 1) 講演会の開催 …新型コロナウイルス感染症のため本年度は開催せず
- 2) 医療的ケア児・者と家族の主張コンクール
9月18日収録(参加者6名)、10月7日~ 財団ウェブサイト及び YouTubeチャンネルで公開
- 3) 写真展の実施
 - ①成育医療研究センターロビー…1月4日~7月12日、9月3日~3月31日
 - ②世田谷美術館区民ギャラリー…10月5日~10日
 - ③NHK放送技術研究所1F技研ギャラリー…1月24日~2月18日
 - ④その他
 - ・目黒星美学園中学高等学校「いのち輝く写真展」…4月23日~5月10日
 - ・アートピア主催「天空コンサート7&7」豊洲シビックセンターロビーに写真展示…3月7日
- 4) 財団の活動紹介
 - ①通信の発行 2回/年度(通信No.9を6月、通信No.10を12月に発行)
 - ②ウェブサイトの活用(財団の紹介、活動内容のお知らせ・報告等)
 - ③Facebook、YouTube、Instagramの活用(若い層への伝達方法として機能)

3. 募金活動

- 1) 個人会員の継続及び新規会員獲得への働きかけ
- 2) 企業や団体への働きかけ
- 3) 募金箱の設置
- 4) ウェブサイトの活用
- 5) その他
オンラインバザーの実施(12月27日~1月6日)…財団メンバーを対象

4. 公益法人化の検討

公益法人に関する情報収集…新型コロナウイルス感染症のため実施せず

■ 令和4年度事業計画

1. 支援事業

- 1) もみじの家等短期滞在施設利用者及び家族へ支援
 - ①施設利用料の支援(長期利用支援を含む)
 - ②ファミリーフォトプロジェクト…コロナウイルス感染症収束までの間は方法を変更して実施
 - ③タオル無償提供
 - ④キッズファム・カフェの実施…コロナウイルス感染症収束までは中止
 - ⑤チャリティライブ…6回/年(偶数月)、コロナウイルス感染症収束まではスタジオからの配信
 - ⑥各種イベント等への招待…コロナウイルス感染症収束までは中止
- 2) 在宅医療ケアを必要とする子どもとその家族を支える事業を実施する団体への支援に向けた検討
 - ①重い病気を持つ子どもと家族を支援する事業・活動を行っている施設・団体との連携
 - ②医療型短期入所サービス拡充を要望する全国活動への助成

2. 啓発事業

- 1) 医療的ケア児・者と家族の主張コンクール…コロナウイルス感染状況により実施時期・方法等を検討
- 2) 写真展の開催
 - ①国立成育医療研究センターロビー…通年
 - ②世田谷美術館区民ギャラリー
 - ③NHK技研ギャラリー
- 3) 財団の活動紹介
 - ①キッズファム通信の発行 2回/年度(6月・12月)
 - ②ウェブサイトの活用

3. 募金活動

- 1) 個人会員の継続及び新規会員獲得への働きかけ
- 2) 企業や団体への働きかけ
- 3) 募金箱の活用
- 4) ウェブサイトの活用

4. 公益法人化の検討

公益法人に関する情報収集



令和3年度決算報告

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
I. 経常収益		
1. 基本財産運用益	60	パートナー会員(10,000 × 120口)
2. 受取会費	2,195,000	サポート会員(3,000 × 165口) 法人会員(100,000 × 5口)
3. 受取補助金等	230,106	
4. 受取寄付金	17,343,144	
5. 雑収益	518,120	
経常収益計	20,286,430	
II. 経常費用		
1. 事業費	6,397,946	
1) 支援事業費	3,092,425	利用料支援、チャリティライブ等
2) 啓発事業費	3,111,771	主張コンクール、通信等
3) 研修事業費	193,750	
4) 連携事業費	0	
2. 管理費	10,437,346	
経常費用計	16,835,292	
経常外費用計	0	
当期一般正味財産増減額	3,451,138	
当期指定正味財産増減額	△214,076	
正味財産期首残高	35,508,417	
正味財産期末残高	38,745,479	

History of KIDANI <10>「もみじの家」開設

当財団創設者、喜谷昌代のボランティア活動の歴史を紹介しています。

日本にも英国のヘレンダグラスハウスのように、重い病気を持つ子どもとそのご家族が温かい気持ちで過ごせる場所をつくりたい。十年以上にも及ぶ喜谷の願いは、敷地と資金の確保という最終にして最も難しい段階を迎えました。ただここでも、喜谷の存在に心を動かされた方々が解決の後押しをしてくださいました。



まず敷地については 日英の障がい者と健常者の交流のために立ち上げたMOMIJIプロジェクトを通じ2009年に東京世田谷区の国立成育医療研究センターと同センターの五十嵐隆理事長とのご縁が出来たことを契機に、喜谷は同センターでの講演等を通じて何度も施設建設の必要性を訴え、さらには日本の医療制度に詳しい読売新聞東京本社の南砂様やドナルドマクドナルドハウスの長瀬淑子様の後押しもあり、2013年に同センターの敷地内への建設が決まりました。

次に資金については、夫の喜谷喜夫氏の兄で名古屋市立大学薬学部名誉教授である喜谷喜徳氏が開発した抗がん剤の収益を原資に設立された「喜谷記念財団」から建設資金の寄付を受けることができました。さらに日本財団の助成や、多くの支援者からの寄付が、折からの建設費高騰による不足分や

備品購入に充てられました。特に喜谷の講演に感銘を受けた日本女子大学同窓会(桜楓会)世田谷支部の皆様には「もみじの家開設を支援する会」を立ち上げて頂き、募金活動ほか広報誌や資料の発行、チャリティコンサートまで実施して頂きました。

そして2016年4月15日、喜谷80歳の春、ようやく「もみじの家」は開設記念式典を迎えたのです。名称は、ここは病院でも病棟でもなく「家」であって欲しいという喜谷の思いから付けられたものです。MOMIJIプロジェクトが、英国の子どもホスピスを日本に建設する活動へと繋がり、もみじの名を冠した温かい家として結実しました。喜谷の思いは、ここに確かな形となったのです。



「もみじの家」開設記念式典にて

ご寄付いただいた方々ご支援有難うございます

(2021.10.1 ~ 2022.3.31)

敬称略

秋山 正子 / 芦澤 昌子 / 畑上 恭彦 / 池上 典子 / 池末 有貴生 / 池田 琢哉 / 伊佐 拓哲 / 石井 恒樹 / 石岡 泰子 / 石川 八重 / 石原 晶世 / 五十子 敬子 / 伊藤 啓子 / 伊藤 雅彦 / 伊藤 美子 / 伊野 公基 / 茨木 信夫 / 岩佐 敏子 / 岩田 啓子 / 植田 宣子 / 植田 栄子 / 宇川 俊和 / 江端 貴子 / 大川 周二 / 大西 海斗 / 岡崎 伸 / 岡田 那美枝 / 岡部 和子 / 小川 美栄子 / 奥 聰一郎 / 奥芝 彰子 / 尾鍋 正子 / 加我 牧子 / カサハラコウジ / 片山 成美 / 片山 ます江 / 加藤 信子 / 金澤 開作・記美恵 / 金田 永子 / 金本 英美 / 川口 雅嗣 / 川瀬 英子 / 河村 政隆 / 菊地 博信 / 岸田 淑子 / 岸本 晃子 / 北崎 成樹 / 鬼頭 とし子 / 木原 優子 / 串田 一樹 / 工藤 加寿子 / 工藤 隆司 / 熊谷 一夫・澄子 / 倉 英子 / 倉地 正・眞知子 / 栗原 幹雄 / 栗原 義和 / 見上 弘子 / 近藤 陽一 / 河野 典子 / 五嶋 くみ子 / 児玉 桂子 / 児玉 美喜子 / 狐塚 七重 / 後藤 祥子 / 小林 京子 / 小峰 万木子 / 辻田 邦子 / 佐藤 マリ子 / 真田 裕季子 / 猿渡 美樹 / 島谷 美成・恵以子 / 清水 佳代子 / 霜田 洋子 / 白木 登美子 / 新藤 由喜子 / 鈴木 尚 / 鈴木 牧子 / 鈴木 佑子 / 鈴木 裕紀子 / 砂田 紀子 / 高田 尚子 / 高梨 絹代 / 高山 香奈江 / 田川 元子 / 滝本 悅子 / 田口 秀子 / 内匠屋 理一 / 田代 洋子 / 萩沢 スマ子 / 月岡 威 / 土屋 幸子 / 土屋 左弥子 / 寺井 勝 / 土居 和子 / 土肥 仁 / 所 昭宏 / 友部 美奈子 / 中尾 あぐり / 永島 崇子 / 永峰 涼子 / 中村 芳子 / 柳川 由紀子 / 西川 博子 / 西谷 久美子 / 橋本 文子 / 濱崎 考史 / 濱田

裕子 / 原田 京子 / 橋口 浩康 / 久間 久恵 / 曰高 淑子 / 廣田 ゆき江 / 藤枝 幹也 / 藤岡 康 / 藤田 学 / 古市 理代 / 星由紀子 / 前垣 義弘 / 前田 浩利 / 増田 美鶴 / 松尾 敦子 / 松尾 三枝子 / 松岡 榮子 / 松谷 明美 / 松本 千明 / 丸山 栄子 / 三浦 清宏 / 三浦 正充 / 三井 翼 / 峯 基二 / 村木 厚子 / 村田 久美子 / 馬上 英実 / 望月 成隆 / 森山 誠二 / 八鍬 瑛子 / 柳田 千代美 / 山川 好子 / 横山 房子 / 吉田 三恵子 / 善本 愛 / 与田 仁志 / Toyoko Fry / Max Wallot / 匿名 19名 / イニシャル IF / IY / KT / MF / SK / SS / YM

お宝エイド等 / 飯泉 希世子 / 遠藤 浩二 / 小原 詩子 / 川上 敦美 / 北澤 潤 / 酒井 みどり / 清水 佳代子 / 藤本 しおぶ / 渡辺 美佐子

ご寄付いただいた企業・団体

海井医科器械株式会社 / 株式会社エイチ・ユウ・ジー / 首都開発株式会社 / 聖心女子学院みこころ会 / 世田谷稻門会地域サポート活動部会 / 東京海上日動火災保険株式会社 / 日本ポーセリンペインター協会 / 程ヶ谷基金 匿名 1団体

*募金箱の設置については、多くの企業・団体様にご協力いただいています。設置箇所についてはウェブサイトをご覧ください。

*各種イベントに募金箱を置かせていただいている。



会員募集と ご寄付のお願い

- ★ 財団の活動は、皆様からの毎年のご寄付（年会費）によって賄われております。
- ★ 皆様からのご支援で、一人でも多くの「重い病気を持つ子どもたちと家族」を支えてください。
- ★ 会員の方には、継続的に財団通信をお送りするほか講演会等イベントのご案内を差し上げます。
- ★ 財団通信にて、お名前・団体名を開示させていただきます。匿名およびイニシャルをご希望の方はお手数ですが、財団事務局までメールまたはお電話にてご連絡ください。

- ◆ 年会費（4月1日から翌年3月31日）

① 法人会員	1口	100,000円
② パートナー会員	1口	10,000円
③ サポーター会員	1口	3,000円

※1口からお受けいたします。
- ◆ ご寄付
金額の多寡にかかわらず、ありがとうございます。
ご支援をぜひお寄せください。

□ 口座名義

一般財団法人

重い病気を持つ子どもと家族を支える財団

1. 郵便振替
00140-0-420461
 2. 三菱UFJ銀行 成城支店
普通 0233800
 3. クレジット決済 (QRコード)
- ★ 三菱UFJ銀行に初めてご送金いただいた方は、メールまたは電話でご氏名とご住所をご連絡願います。



ーお知らせー



★書籍「ひとすじの光—喜谷昌代の生涯」を特別価格で販売中です。本を購入いただいた売り上げは全額、重い病気を持つ子どもと家族を支える活動に使わせていただきますので、ご協力をお願い申し上げます。

★Tポイント募金にご協力をお願いします。Tポイントカードをお持ちでしたら、ポイントをキッズファム財団に募金いただくことが可能です。下記のウェブサイトからお手続きいただけます。

<https://tsite.jp/donation/>



一般財団法人 重い病気を持つ子どもと家族を支える財団
(キッズファム財団)

〒157-8535

東京都世田谷区大蔵2-10-1
国立成育医療研究センター内

Foundation for Severely Ill Children and Their Families

TEL 03-5494-1230 Eメール zaidan@kidsfam.or.jp

URL : <https://kidsfam.or.jp> 「キッズファム財団」で検索ください

おかげさまで…

みなさまに愛される

街角の募金箱

国立成育医療研究センターのB1Fにあるベーカリー「ぐうちょきパン」と12Fの「レストランつばさ」にキッズファム財団様の募金箱を設置させていただいております。

外来や面会で来院される方々の他、病院職員の皆さんにご利用いただいており、レジに立つておられますと日々たくさんの方々が募金をしてくださる場面を目にいたします。これからも皆様の温かいお気持ちをキッズファム財団様にお届けする場として、活動を広める役割の一端を担い、笑顔を増やすお手伝いができれば幸いです。(株式会社スエヒロ：ぐうちょきパン/レストランつばさ)



編集後記

キッズファム通信No.11をお届けいたします。コロナ禍の中、安全・安心を考慮して可能な活動を続けていますが、近いうちにリアル開催ができるることを待ち望んでいます。

そんな中、全国の医療的ケア児者と家族や支援者をつなぐネットワーク「全国医療的ケアオンライン」が発足しました。これまで点や線であった繋がりが面となり、社会に発信しやすい世の中になることを願っています。

前号から表紙の絵を担当させていただいています。今回はダブルデッカーバスに乗ってロンドンの街を観光するご家族というテーマで作成してみました。（大川）